



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 テンアライド 株式会社

コード番号 8207 URL <http://www.teng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 飯田 永太

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 加藤 慶一郎

TEL 03-3661-0772

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,538	△3.4	192	40.4	206	61.3	98	△60.9
24年3月期第3四半期	11,948	△9.8	137	—	128	—	252	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 110百万円 (△55.3%) 24年3月期第3四半期 246百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	3.81	—
24年3月期第3四半期	9.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	10,914	7,573	69.2	290.73
24年3月期	10,929	7,494	68.3	286.36

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,548百万円 24年3月期 7,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,730	0.0	232	56.9	264	72.1	102	△70.1	3.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	26,579,527 株	24年3月期	26,579,527 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	617,234 株	24年3月期	497,653 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	25,975,652 株	24年3月期3Q	26,082,018 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要を背景とした緩やかな景気の持ち直しが見られだしましたが、上半期においては欧州各国のデフォルトリスク等に伴う円高が続き、国内経済についてもデフレ基調で、製造業を中心に厳しい経営状況となっております。そして年末の政権交代を経て、デフレ脱却を目指した大幅な金融緩和やインフレターゲットの設定を通じて円安傾向にありますが、抜本的な規制緩和をはじめとした実体性ある対応が不透明なため、まだまだ先行きは見通しづらい状況と言えます。

このような状況の中、当社グループの属する外食産業界におきましては、電気料金の値上げや消費税増税といった動きに機敏に反応した個人消費マインドが低調となりつつあり、加えて中食市場との競合が一層進んだことにより、極めて激しい競争が繰り広げられております。さらに、国家による食材の規制リスクや食材枯渇に伴う価格の高騰リスクといった状況も現出しており、経営を取り巻く環境はさらに厳しい状況となっております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、堅実な店舗展開と着実な収益構造の確立を図ってまいりました。

店舗展開といたしましては、まず新規出店として4月1日に「テング酒場」川口東口店、8月1日に「テング酒場」神田南口店、11月15日に「テング酒場」渋谷西口桜丘店をオープンさせました。また「旬鮮酒場天狗」から「テング酒場」への業態変更を10店舗、「和食れすとらん天狗」から「旬鮮酒場天狗」への業態変更を1店舗実施いたしました。これにより当第3四半期連結会計期間末における当社グループの店舗数は、「旬鮮酒場天狗」32店舗、「和食れすとらん天狗（「旬鮮だいにんぐ天狗」「ステーキ大作戦」含む）」48店舗、「テング酒場」43店舗の合計123店舗となっております（内フランチャイズ1店舗）。

以上のような店舗展開に加え、居酒屋業態店舗でのランチ営業やアイドルタイムでの営業といった営業時間の伸張を実施することにより機会収益を増大させ、店舗の収益構造の再構築に取り組むと共に、原価や各種経費についても引き続き見直しを行い、コストの削減・適正化に積極的に取り組んでおります。

もっとも、このような取り組みに際し、あくまで当社グループは愚直なまでにお客様への四つの誓い「良いものを安く、早く、清潔に、最高の雰囲気」を実現することを肝に銘じ、会社としての取り組みの方向性を見まがうことなく、当社グループ一丸となって邁進することを徹底しております。こうした観点から、従来から継続して取り組んでおります店舗営業に係る内部監査や衛生監査について、更に内容の充実に取り組み、理念の徹底を図っております。

以上のような取り組みの結果として、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、115億38百万円で前第3四半期連結累計期間比96.6%となっております。

他方、利益面につきましては、前期来の抜本的な効率化施策が功を奏し、営業利益は1億92百万円（前年同期は営業利益1億37百万円）、経常利益2億6百万円（前年同期は経常利益1億28百万円）、四半期純利益98百万円（前年同期は四半期純利益2億52百万円）となり、前期特別利益の影響により四半期純利益は低迷したものの、営業利益・経常利益において改善が進行しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて14百万円減少し、109億14百万円となりました。この主な要因といたしましては、新規の設備投資に伴い有形固定資産が72百万円増加したものの、商品及び製品の増加に対しその他流動資産の減少が上回ったことにより流動資産が36百万円減少し、加えて敷金及び保証金の減少により投資その他の資産が46百万円減少していることによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて93百万円減少し、33億41百万円となりました。その主な要因といたしましては、新規の長期借入により長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が1億79百万円、買掛金が55百万円、流動負債その他が53百万円増加いたしましたが、短期借入金が2億85百万円、社債が50百万円減少していることによるものであります。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて78百万円増加し、75億73百万円となりました。その主な要因といたしましては、自己株式が30百万円減少したものの、利益剰余金が98百万円、その他有価証券評価差額金が11百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成24年5月14日付「平成24年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

※業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績等は、今後の様々な要因の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,688,091	2,687,794
売掛金	125,935	121,126
商品及び製品	143,051	215,589
その他	423,761	319,908
貸倒引当金	△95	△229
流動資産合計	3,380,744	3,344,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,317,036	9,398,945
減価償却累計額	△7,316,298	△7,340,084
建物及び構築物(純額)	2,000,738	2,058,860
機械及び装置	1,485,583	1,505,062
減価償却累計額	△1,197,876	△1,213,637
機械及び装置(純額)	287,707	291,425
工具、器具及び備品	2,043,832	2,106,669
減価償却累計額	△1,730,452	△1,780,582
工具、器具及び備品(純額)	313,379	326,087
土地	245,103	245,103
建設仮勘定	2,100	—
有形固定資産合計	2,849,029	2,921,477
無形固定資産		
投資その他の資産	72,040	68,515
敷金及び保証金	4,478,092	4,431,710
その他	150,540	150,482
貸倒引当金	△1,400	△1,400
投資その他の資産合計	4,627,233	4,580,792
固定資産合計	7,548,303	7,570,785
資産合計	10,929,048	10,914,974

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	400,091	455,297
短期借入金	285,000	—
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	61,777	137,116
未払法人税等	82,769	71,150
その他	832,828	886,724
流動負債合計	1,762,467	1,650,288
固定負債		
社債	125,000	75,000
長期借入金	443,234	547,193
退職給付引当金	905,400	914,087
資産除去債務	22,352	22,426
その他	176,543	132,940
固定負債合計	1,672,530	1,691,646
負債合計	3,434,997	3,341,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,257,201	5,257,201
資本剰余金	1,320,293	1,320,293
利益剰余金	1,041,235	1,140,111
自己株式	△203,041	△234,015
株主資本合計	7,415,689	7,483,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,189	△778
土地再評価差額金	65,208	65,208
その他の包括利益累計額合計	53,019	64,430
新株予約権	25,341	25,017
純資産合計	7,494,050	7,573,038
負債純資産合計	10,929,048	10,914,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	11,948,867	11,538,400
売上原価	3,257,268	3,130,318
売上総利益	8,691,599	8,408,081
販売費及び一般管理費		
人件費	4,335,635	4,150,756
退職給付費用	156,073	112,656
地代家賃	1,692,655	1,663,497
その他	2,369,905	2,288,328
販売費及び一般管理費合計	8,554,270	8,215,238
営業利益	137,329	192,842
営業外収益		
受取利息	1,260	1,203
受取配当金	2,920	3,023
受取賃貸料	4,289	4,289
固定資産受贈益	14,711	17,490
その他	15,393	7,321
営業外収益合計	38,575	33,328
営業外費用		
支払利息	18,824	16,320
店舗閉鎖損失引当金繰入額	18,795	—
その他	10,031	2,967
営業外費用合計	47,652	19,287
経常利益	128,252	206,883
特別利益		
受取補償金	145,295	—
受取和解金	59,000	—
その他	698	1,136
特別利益合計	204,994	1,136
特別損失		
固定資産除却損	21,215	17,474
リニューアル諸費用	8,033	16,602
固定資産処分損	7,969	12,625
その他	2,774	4,602
特別損失合計	39,992	51,304
税金等調整前四半期純利益	293,253	156,716
法人税、住民税及び事業税	44,823	58,476
法人税等調整額	△4,342	△636
法人税等合計	40,481	57,840
少数株主損益調整前四半期純利益	252,772	98,876
四半期純利益	252,772	98,876

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	252,772	98,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,433	11,410
土地再評価差額金	5,116	—
その他の包括利益合計	△6,317	11,410
四半期包括利益	246,455	110,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,455	110,287

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は同種の外食産業及びその補完的事業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。